

より確かに、より深く...
二挺の音がひとつの風景になる

TAMAKO AZUMA



デュオコンサート

vol.2

東珠子 × 細川泉

IZUMI HOSOKAWA



- モーツァルト：2台のナチュラルホルンのための12の
デュエットより第2番「メヌエット」K.487 -
Vn&Va版 (1786)
- イワン・ハンドシキン：ロシアの唄による6つの変奏曲より
第1番「橋のほとりて」(1786)
- シベリウス：二重奏曲ハ長調Op.66(1892)
- ラーズロー・ヴァイネル：二重奏曲(1939)
- ヨーク・ボウエン：3つの二重奏曲ト短調Op.67(1938)
- ビャルネ・ブルスタード：ヴァイオリンとヴィオラのための
《カプリッチ》ハ長調(1931)
- ヴィラ=ロボス：二重奏曲(1946)

Ticket

ご希望の公演のQRコードを読み取り
オンラインチケットをご購入下さい

一般 4,000円 学生 2,000円

〔全席自由〕
〔当日+500円〕

京都



tamakoviolon
@gmail.com(東)
(両公演)

福岡



イスタ・バイオリン
092-713-7536
(福岡公演のみ)

京都
公演

2026
7/31
金

開演 19:00

(開場18:30)

旭堂楽器店2階
サンホール

(〒604-0992 京都市中京区寺町通夷川上ル(藤木町24))

福岡
公演

2026
8/2
日

開演 15:00

(開場14:30)

和光音楽アカデミー
マジョルカホール

(〒814-0015 福岡県福岡市早良区室見1-3-11
和光音楽アカデミー2階)

祈りと記憶の旅へー

昨年ご好評をいただいた、ヴァイオリンとヴィオラのためのデュオ・コンサートシリーズ第2回公演。今年も昨年以上にマニアックでありながらも、聴きやすく魅力あふれる“隠れた名曲”を集めました。1曲目は、ナチュラルホルンのために書かれたモーツァルトの作品。続く2曲目は、ウクライナ出身のハンドシキンによる、ロシア民謡を題材にしたイタリアのヴィルトゥオジティを散りばめた小品です。この2作品はいずれも1786年に作曲されました。続いて時代はシベリウスへと移り、哀愁を帯びた儚くも素朴なヴァイオリンの旋律と、伴奏に徹しながらも和声の流れによって音楽を導くヴィオラの役割を北欧の音楽をと合わせてお楽しみいただきます。

さらに、ホロコーストで28歳の若さで亡くなったユダヤ系ハンガリー人作曲家のヴァイネル、ヴィオラを愛しヴィオラのための曲を多く残したイギリス人作曲家のポウエン、オスロフィルの元首席ヴィオラ奏者でもあったノルウェー人作曲家のブルスタード——1930年代に書かれた、いずれもあまり知られていない名作を通して、ヨーロッパ各国に思いを馳せていただきます。

そして最後は大陸を越え、20世紀を代表するブラジル人作曲家ヴィラ＝ロボスの世界へ。高い密度と熱量を持つ力強い作品の中で、二人のエネルギーが一気に放出されます。

国や民族の異なる7人の作曲家による音楽に耳を傾けながら、繰り返される戦争や紛争の歴史に目を向け、平和への祈りを捧げる——そんな想いを込めつつ、ヴァイオリンとヴィオラによるデュオの魅力に迫るコンサートです。



Tamako Azuma

Violin 東 珠子

京都出身フランス在住。京都市立京都堀川音楽高校及び京都市立芸術大学を首席卒業、音楽学部賞、京都音楽協会賞受賞。大学在学中ウィーン国立音楽大学に交換留学生として1年間派遣される。卒業後渡仏、パリ国立地方音楽院上級課程及びパリ・スコラ・カントルム音楽院を審査員満場一致の最優秀評価にて首席卒業。04年全日本学生音楽コンクール大阪大会等第1位。07年宗次ヴァイオリンコンクール入賞。ザグレブ・フィル(クロアチア)、セントラル愛知響、京都市ジュニアオーケストラ(広上淳一氏指揮)、チェンバーソロイスト佐世保等とコンチェルト共演。08-14年まで小澤征爾音楽塾オーケストラの塾生として中国ツアー、日本ツアーに参加、10年より度々長岡京アンサンブルのメンバーとして東京春音楽祭やCDレコーディングに参加、17-21年はチェンバー・ソロイスト・佐世保のメンバーとして毎年コンサートに出演、ソリストも務める。25年よりサイトウキネンオーケストラ、水戸室内管等に参加。これまでにヴァイオリンを小柴恵子、山本美帆、橋本寿子、池川章子、森悠子、久合田緑、豊嶋泰嗣、ミハエル・フリッセンシュラーガー、ジャン＝ピエール・ヴァレーズ、アキ・ソリエール、フレデリック・ラロック(パリオペラ座コンマス)の各氏に師事。08-09年度明治安田生命クオリティオブライフ文化財団、10-11年度ロームミュージックファンデーション奨学生。14-23年ベルギー王立歌劇場Vn奏者。ブリュッセルチェンバーオーケストラ、カルテット澤標メンバー。23年9月よりフランス・リール国立管弦楽団2nd Vn首席奏者。



Izumi Hosokawa

Viola 細川 泉

京都市立芸術大学卒業。京都フランス音楽アカデミーとシャンゼリゼ管弦楽団の共同奨学金を得て、サント・ヨーロッパ古楽音楽アカデミーに参加。京都市立芸術大学院在学中にヴィオラに転向し、同大学院を修了。ジュネーヴ高等音楽院において、ヴィオラを今井信子氏に、室内楽をガボール・タカーチ＝ナジ氏の元で研鑽を積み、2014年に修了。スイスのヴェルビエ音楽祭に参加し、Verbier Festival Orchestra 2014-2016で演奏。シャルル・デュトワ、ダニエル・ハーディング、イヴァン・フィッシャー、ヴァレリー・ゲルギエフ、ズービン・メーターなどの現代を代表する指揮者の元でオーケストラの研鑽を積む。日本演奏連盟と文化庁の主催でいずみホールにてソロリサイタルを開催。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。

2018-2025年九州交響楽団 首席ヴィオラ奏者。篠崎史紀氏と、モーツァルト協奏交響曲を九州交響楽団と共演。長岡京室内アンサンブルメンバー。

2022年より京都市立芸術大学非常勤講師として、後進の指導にあたる。

ヴィオラのソロ楽器としての魅力を伝えるため、リサイタルシリーズ「細川泉ヴィオラ 名曲の小箱」定期的に開催。バロックから現代の邦人作曲家に至るまで様々なレパートリーを演奏する。本来の人間の自然な骨格と張力に基づいた最新テンセグリティ理論を用いた演奏法を研究し、演奏と指導に取り入れている。これにより、身体に無理のない自然な響きと、年齢を問わない演奏の向上を目指している。

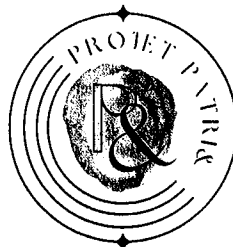


よろしければこちらもフォローして
活動を応援してください



奏者たちのX(旧Twitter)

奏者たちのInstagram



“Projet Patri&”って？

一時帰国で里帰りする海外在住アーティストを交え、コンサートを企画しています。Patri&(パトリ)とはpatrie(故郷)とet(&)という2つのフランス語を足した造語です。Instagram@projet_patrie_et